

名古屋大学医学部から博物館へ移管されたムラージュ標本の一覧

List of the medical moulages transferred from the School of Medicine to the Museum at Nagoya University

西田佐知子(NISHIDA Sachiko)¹⁾・小林 身哉(KOBAYASHI Miya)²⁾・
安立あゆみ(ADACHI Ayumi)³⁾・伊藤 裕司(ITO Yuji)⁴⁾・
市村 卓也(ICHIMURA Takuya)⁵⁾・尾坂知江子(OZAKA Chieko)⁶⁾・
金 景子(KIM Kyonja)⁷⁾

- 1) 名古屋大学博物館
The Nagoya University Museum
- 2) 金城学院大学生生活環境学部
College of Human Life and Environment, Kinjo Gakuin University
- 3) 名古屋大学大学院医学研究科
Graduate School of Medicine, Nagoya University
- 4) 名古屋大学医学部
School of Medicine, Nagoya University
- 5) 名古屋大学大学院生命農学研究科
Graduate School of Agriculture, Nagoya University
- 6) 名古屋市科学館
Nagoya City Science Museum
- 7) 三重県津市
Tsu City, Mie Prefecture

Abstract

Medical moulages are three-dimensional wax figures of a part of human body, invented in Europe and mainly used for the medical education before the domination of color photographs. School of Medicine, Nagoya University, possessed more than five hundreds of dermatological moulages, most of which were produced by Mr. Kentaro Hasegawa under the supervision of Dr. Kaiichiro Kano during 1946-64. These moulages are so important specimens as a witness to the history of medical education and the art of wax modeling that the school transferred them to the Nagoya University Museum in 2000 and 2002. We made use of the occasion, providing a list and digital-photographic record of the specimens. This review presents the list with a summary of their history.

はじめに

ムラージュ (mouflage) にはフランス語で“模型”の意味があり、皮膚科の病気などの蠟の模型もムラージュと呼ばれてきた。古くから欧州の国々では蠟で作られた立体模型で病気の症例を記録することが行われてきたが、この技術は明治から大正時代にかけて、東大医学部皮膚科を通じて日本にも導入された。名古屋大学の医学部でも、皮膚科のムラージュ標本が作られ医学教育に大きな役割を果たしたが、カラー写真や3D画像などの発達によって、今ではその役目を終えている。しかし、本物と見紛うばかりの精巧なムラージュは、医学教育の歴史ばかりでなく、標本技術の歴史という点でも非常に貴重な資料である。

医学部が所蔵していたこれらの貴重なムラージュは、2001年に名古屋大学医学部の教育標本に関する

る展示が名古屋大学博物館で開催されたのをきっかけに博物館に移管する計画が立てられ、2001年と2002年の2回にわたって移管作業が行われた。その際、標本の名称の記録と画像データの登録が行われ、名古屋大学医学部が所蔵していたムラージュ標本の全体像が明らかになった。ここでは、それらのムラージュの所蔵および博物館への移管の経緯を報告するとともに、標本のリストを公開する。

名古屋大学でのムラージュの歴史

1. ムラージュの導入と最盛期

長門谷(1991)によると、日本の皮膚科にムラージュの技法を移入し定着させたのは東京大学の土肥慶蔵教授(1866-1931)であり、彼がウィーン大学で学んだ製法技術を1898年に東京大学で伝授したのが始まりであるという。名古屋大学への伝播については大橋(1995)に詳しいが、ここにその経緯をまとめると次のようになる。土肥氏のもとで優れたムラージュ製作を行っていた伊藤有氏から長谷川兼太郎氏がその技術を学び、長谷川氏は1916(大正5)年に愛知医専の田村春吉教授に招かれ、名古屋でのムラージュ製作を始めた。しかし、1920(大正9)年に長谷川氏は南満医学堂に移り、敗戦までの27年間を満州で過ごすこととなった。1946(昭和21)年、日本に引き揚げた長谷川氏は名古屋大学医学部皮膚科に招かれ、当時教授だった加納魁一郎氏の元で名古屋でのムラージュ作りを再開する(田村春吉氏は当時、名古屋大学の学長を務めていた)。長谷川氏は1964(昭和39)年の定年退職までムラージュ製作を続け、それらのムラージュは加納氏の講義に使われた。加納氏の退官後は、カラー写真による講義に取って代わり、ムラージュを講義で使用する教官は少数になったという。

2. ムラージュの再発見と保存

1995(平成7)年5月、名古屋大学鶴舞キャンパスの再整備にあたり、別館にあった解剖学教室の標本用の倉庫(2階)と標本展示室(1階)が基礎棟本館1階に移されることになった。この報告の著者の一人である小林は当時、人体解剖教育研究施設の教育研修部門を担当していたことから、移転先の標本展示室の整備のため展示されていた標本や倉庫保管物の引っ越しに立ち会い、ムラージュを目にすることとなった。まるで人間の体の一部がそこに置かれているかのような本物と見紛う作りに圧倒され、これらのムラージュは手厚く保存されなければならないと判断し、すべて標本展示室に運んでもらうことにした。ムラージュは運送会社の人々の手で丁寧に梱包され、段ボール箱につめられて基礎棟に運ばれた。ただし標本展示室には箱を置くスペースがなかったため、一部のムラージュだけ展示室の標本棚に陳列し、残りの大多数は一時的に病理標本室に箱のまま置かせていただいた。

尾坂は小林からこれらのムラージュの存在を聞き、標本リストを作ることの重要性を指摘し、金と2人で1999年夏から2001年7月までリストの作成を行った。段ボール箱の中身を箱の外側にラベルで明示し、かつ標本名を写し取る。また、標本の埃もタオルでぬぐう。冷暖房の効かない部屋で、夏の暑さ冬の寒さと戦いながらの作業であった。さらに標本名はコンピュータに入力され、今報告のリスト作成のもととなった。

3. 展示

2001(平成13)年6月9日から10月3日まで、名古屋大学博物館の第2回特別展として「名古屋大学の医のこころ-医学部所蔵の教育資料・標本展」が開催された。ムラージュは、カラー写真の無い時代の医学部皮膚科の貴重な教育資料として、この展示でも多数紹介されることとなった。一般への公開はおそらく初めてのことであっただろう。

4. 博物館への移管

これらのムラージュを医学部展終了後も博物館で保存したい、という意向のもとに、医学部皮膚科から正式に名古屋大学博物館に移管する手続きが取られた。博物館に移すにあたって、伊藤が個々のムラージュを撮影し画像ファイルを作成するとともに、以前のリストの記入漏れや記入ミスを修正した。このとき移管されたムラージュは475点だった。

その後、医学部でさらにムラージュが見つかり、これらは2002（平成14）年7月に博物館に移管された。これらの写真撮影およびデータ入力由市村が行った。この時移管されたムラージュは、標本台に貼付されたものが61点あったが、その他に台のない、試作品と思われるものも数点見られた（試作品らしき標本はリストからは除外してある）。また、61点中32点についてはガラスケースに収められていた。最終的に医学部から博物館へ移管されたムラージュは、試作品を除くと536点となった。なお、すべてのムラージュの症状名については、安立が現在の名称との照合を行った。

ムラージュの現状と今後の課題

現在ムラージュは、一部を展示に使用している他は博物館の倉庫に保管されている。管理は西田が担当しているが、市村によって一点ずつ美術品梱包用の紙に包まれ数点ずつプラスチックケースに収納された上で、高温を避けるための空調が整った部屋に置かれている。従って、今後ムラージュが傷や汚れを受けるおそれは少ない。しかし、それまでの長い年月の間に埃やカビなどが付着してしまったムラージュも多い。ムラージュは蠟で作られているため、埃やカビを単純に拭ったり洗ったりして除去すると本体を傷つける可能性があり、十分な掃除ができないのが現状である。また、20点あまりの標本で、耳の一部などの欠損が発見されている。今までに付着した汚れをどのように落とすかを検討し、実際に500点を上回る標本すべてを洗浄するとともに、欠損を修復することが、今後の課題として残されている。

以上のように、およそ半世紀前に名古屋大学医学部で作製されたムラージュは、医学部での教育に多大な貢献をしたあと、博物館に永住の場を得た。これからは今までの汚れを早く洗い流して、一般市民の教育に使われるなど、新しい活躍を期待したい。

ムラージュ標本リスト

リストには左から、博物館における標本番号、医学部時代につけられた標本番号、標本に記された病名（または症状名）、現在の名称またはより適当と思われる名称、破損などに関する備考、以上が掲載されている。なお、標本の一部には患者の氏名らしき記載もあったが、これについてはプライバシー保護のためリストより削除した。また、前述したように、試作品と思われるムラージュについてはリストに挙げていない。

試作品を除くムラージュはすべて画像データも保存しており、参考のためにその一部をここに紹介した（図版1）。

謝 辞

ムラージュの移管に関しては、名古屋大学医学部解剖学教室、東京大学総合研究博物館の神谷敏郎先生、メルサ皮膚科の富田洋医師をはじめとする多くの方にお世話になりました。ここに記して感謝の意を表します。

引用文献

長門谷洋治 (1991) 皮膚疾患のムラージュ - アンケート調査と史的展望 -. 皮膚病診療, 13(3), 248-254.

大橋 勝 (1995) ムラージュと皮膚科. 名大医学部学友時報, 551, 2.



図版 1 名古屋大学医学部から博物館へ移管されたムラージュの例 (名称は当時のもの) (A)天然痘 (B)天然痘 (C)悪性メラノーム (D)連鎖状球菌性膿痂疹 (E)皮膚結核(皮膚腺病) (F)慢性乳嘴状潰瘍性膿皮 (G)頭部乳頭状皮膚炎 (H)クリーピング・デモーズ

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0001	イ 208	頭部白癬	同左	
NUM-Ww 0002	イ 211	NO.653 手掌竝爪甲白癬	手白癬、爪白癬（手）	
NUM-Ww 0003	イ 220	頑癬	股部白癬	
NUM-Ww 0004	イ 225	白癬性指趾間糜爛症	足白癬（趾間びらん型）	
NUM-Ww 0005	イ 432	爪甲白癬	爪白癬	
NUM-Ww 0006	イ 088	表皮癌	扁平上皮癌か？	
NUM-Ww 0007	イ 089	色素性乾皮症兼腫瘍	色素性乾皮症と皮膚癌	
NUM-Ww 0008	イ 097	特発性多発性出血性肉腫 (カポシー)	Kaposi 肉腫あるいはカポジ肉腫	
NUM-Ww 0009	イ 098	カポシー氏肉腫	Kaposi 肉腫あるいはカポジ肉腫	
NUM-Ww 0010	イ 257	先天性手掌及足蹠角化症	遺伝性掌蹠角化症	
NUM-Ww 0011	イ 082	皮膚癌 [Carcinoma cutis]	扁平上皮癌か？	耳破損
NUM-Ww 0012	イ 083	基底細胞癌	基底細胞上皮癌	
NUM-Ww 0013	イ 086	陰茎癌	同左（扁平上皮癌か）	
NUM-Ww 0014	イ 090	色素性乾皮症（皮膚癌） [XERO DERMA PIGMENTOSA e CARCINOMA CUTIS]	色素性乾皮症に発生した腫瘍	耳破損
NUM-Ww 0015	ヒ 001	悪性メラノーム	悪性黒色腫	
NUM-Ww 0016	イ 011	NO.65 ベラグラ [Pellagra]	ベラグラ	
NUM-Ww 0017	イ 018	NO.68 ベラグラ [Pellagra] (右足)	ベラグラ	
NUM-Ww 0018	イ 019	NO.63 ベラグラ [Pellagra] (左足)	ベラグラ	
NUM-Ww 0019	ヒ 059	急性播種状エリテマトーテス	(SLE)	
NUM-Ww 0020	ヒ 060	大理石様紫斑	大理石様皮膚	
NUM-Ww 0021	ヒ 061	アトピー性皮膚炎	同左	
NUM-Ww 0022	352	アンチピリン疹	ピリン疹	
NUM-Ww 0023	イ 030	NO.624 慢性レントゲン皮膚炎	慢性放射線皮膚炎	
NUM-Ww 0024	イ 058	薬物性皮膚炎（うるし）	うるしによる接触皮膚炎	
NUM-Ww 0025	イ 347	臭素疹	薬疹	
NUM-Ww 0026	ヒ 062	ルミナル疹	薬疹	
NUM-Ww 0027	ヒ 063	尋常性疣贅	同左	
NUM-Ww 0028	イ 037	柑皮症	同左	
NUM-Ww 0029	イ 206	頭部浅在性白癬 [Trichophytia superficialis capillitii]	頭部浅在性白癬	
NUM-Ww 0030	イ 218	チェルズース氏禿瘡	ケルスス禿瘡あるいは Celsus 禿瘡	
NUM-Ww 0031	イ 236	1 種 1 多発性斑状色素増生症		
NUM-Ww 0032	イ 242	囊尾蟲症		
NUM-Ww 0033	イ 243	水田病（右下腿）	セルカリア皮膚炎	
NUM-Ww 0034	イ 245	NO.523 黄癬		
NUM-Ww 0035	イ 249	諾威疥癬	ノルウェー疥癬	
NUM-Ww 0036	—	血管型疹出紅斑	多形浸出性紅斑か？	所在不明
NUM-Ww 0037	イ 001	全身型多形滲出性紅斑	多形浸出性紅斑	
NUM-Ww 0038	イ 016	NO.612 マヨツキ 血管拡張性環状紫斑	慢性色素性紫斑の一型 - 血管拡張 性環状紫斑	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0039	イ 020	ペラグラ	同左	
NUM-Ww 0040	ヒ 039	Erythema punctata		
NUM-Ww 0041	イ 336	列序性母斑	同左	
NUM-Ww 0042	イ 337	NO.647 列序性皮脂線母斑	脂線母斑	
NUM-Ww 0043	ヒ 064	海綿状血管腫（整形術後）	同左	一部破損
NUM-Ww 0044	ヒ 065	海綿様血管腫	海綿状血管腫	
NUM-Ww 0045	イ 065	多発性毛嚢々腫	多発性毛包嚢腫	
NUM-Ww 0046	イ 073	黄色腫	同左	
NUM-Ww 0047	イ 081	多発性丘疹状毛嚢上皮腫	同左	
NUM-Ww 0048	イ 419	レクリングハウゼン氏病	レクリングハウゼン病、 von Recklinghausen 病	
NUM-Ww 0049	イ 435	癬痕ケロイド	同左	
NUM-Ww 0050	ヒ 003	限局性リンパ管腫	同左	
NUM-Ww 0051	イ 044	結痂性湿疹	湿疹	
NUM-Ww 0052	イ 046	蕁麻疹	同左	
NUM-Ww 0053	イ 055	毒蛾性皮膚炎	同左	一部破損
NUM-Ww 0054	ヒ 066	NO.43 色素性蕁麻疹	色素性蕁麻疹	
NUM-Ww 0055	ヒ 067	アトピー性皮膚炎	同左	
NUM-Ww 0056	イ 219	渦状癬	体部白癬	
NUM-Ww 0057	イ 224	頑癬	股部白癬か？	
NUM-Ww 0058	イ 383	酵母菌腫	皮膚カンジダ症	
NUM-Ww 0059	イ 041	柑皮症・黄色腫 [Aurantiasis et Xanthom]	柑皮症	一部破損
NUM-Ww 0060	イ 231	先天性対側性色素異常性	遺伝性対側性色素異常性	
NUM-Ww 0061	イ 235	色素失調症？	色素失調症	
NUM-Ww 0062	イ 375	網状肢端色素沈着症	網状肢端色素沈着症（北村）	
NUM-Ww 0063	ヒ 068	柑色皮症	柑皮症	
NUM-Ww 0064	イ 188	類狼瘡（瀰漫性浸潤形）		
NUM-Ww 0065	イ 197	結核性結節性静脈炎・ バザン氏硬結性紅斑	バザン硬結性紅斑	
NUM-Ww 0066	イ 316	限局性躯幹被角血管腫	被角血管腫	
NUM-Ww 0067	イ 329	NO.622 皮脂腺母斑	脂腺母斑	
NUM-Ww 0068	イ 032	爪疾患ノ種々相		
NUM-Ww 0069	イ 035	NO.46 多発性毛嚢々腫患者ニ 併発セル爪ノ変化		
NUM-Ww 0070	イ 038	爪溝縦裂症	爪甲縦溝	傷有り
NUM-Ww 0071	イ 039	連珠状爪甲		
NUM-Ww 0072	イ 374	円板状エリテマトーデス	円板状エリテマトーデス（DLE）	
NUM-Ww 0073	イ 423	匙状爪	匙状爪甲	
NUM-Ww 0074	ヒ 053	酒サ性座瘡	酒さ	
NUM-Ww 0075	ヒ 054	NO.74 薬物疹爪炎	薬剤による爪囲炎	
NUM-Ww 0076	イ 072	弾力線維性仮性黄色腫	弾性線維性仮性黄色腫	
NUM-Ww 0077	イ 075	癬痕蟹足腫	癬痕ケロイド	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0078	ヒ 046	静脈瘤兼被角血管腫		
NUM-Ww 0079	イ 209	湿疹状白癬	足白癬 (小水疱型)	
NUM-Ww 0080	イ 212	汗疱	同左	
NUM-Ww 0081	イ 246	遠山・松浦連圈状枇糠疹	連圈状枇糠疹 (遠山)	
NUM-Ww 0082	イ 379	頑癬 (治療前/武田 T-265 使用 (マーズニン剤) 治療四日後)	体部白癬治療前/治療 4 日後	一部破損及び 台板ゆがみ
NUM-Ww 0083	イ 067	癬痕蟹足腫	癬痕ケロイド	
NUM-Ww 0084	イ 430	斑状皮膚萎縮	同左	
NUM-Ww 0085	ヒ 018	多発性結節性黄色腫	結節型黄色腫	
NUM-Ww 0086	ヒ 019	皮膚筋腫 [Leiomyoma]	平滑筋腫	
NUM-Ww 0087	ヒ 020	カポシー肉腫	カポジ肉腫あるいは Kaposi 肉腫	
NUM-Ww 0088	イ 104	ヘブラ氏紅色枇糠疹	ヘブラ氏紅色枇糠疹	
NUM-Ww 0089	イ 110	NO.655 ジューリング氏疱疹状 皮膚炎	ジューリング疱疹状皮膚炎	
NUM-Ww 0090	イ 114	帯状疱疹	同左	
NUM-Ww 0091	イ 115	単純性疱疹	同左	一部破損
NUM-Ww 0092	ヒ 040	ヘブラ氏紅色枇糠疹	ヘブラ氏紅色枇糠疹	
NUM-Ww 0093	イ 268	NO.71 汗孔角化症	汗孔角化症	
NUM-Ww 0094	イ 377	鱗状毛嚢角化症	鱗状毛包性角化症	
NUM-Ww 0095	イ 378	鱗状毛嚢角化症	鱗状毛包性角化症	
NUM-Ww 0096	イ 390	進行性胼胝状手掌角化症	手湿疹 (進行性指掌角皮症)	
NUM-Ww 0097	ヒ 047	先天性手掌足蹠角化症	同左	
NUM-Ww 0098	ヒ 048	NO.516 鱗状毛嚢角化症	鱗状毛包性角化症	
NUM-Ww 0099	—	頭部乳嘴状皮膚炎	頭部乳頭状皮膚炎	所在不明
NUM-Ww 0100	—	尋常性毛瘡	同左	所在不明
NUM-Ww 0101	イ 153	痘瘡	天然痘	所在不明
NUM-Ww 0102	イ 009	血泡状紫斑		
NUM-Ww 0103	イ 013	NO.658 Pellagra (足)	ペラグラ	
NUM-Ww 0104	イ 017	ペラグラ (手)	同左	
NUM-Ww 0105	イ 026	急性紅斑性狼瘡	急性紅斑性狼瘡 (SLE)	
NUM-Ww 0106	イ 036	銀皮症	同左	
NUM-Ww 0107	イ 233	色素失調症? (膝)		
NUM-Ww 0108	イ 234	色素失調症? (手)		
NUM-Ww 0109	イ 237	アヂソン氏病	アヂソン病、Addison 病	
NUM-Ww 0110	イ 238	アヂソン氏病	アヂソン病、Addison 病	
NUM-Ww 0111	イ 059	NO.484 癬裂性胼胝性湿疹	手湿疹	
NUM-Ww 0112	イ 095	菌状息肉腫	菌状息肉症	
NUM-Ww 0113	イ 101	先天性表皮水疱症	同左	
NUM-Ww 0114	イ 112	ジューリング氏疱疹状皮膚炎	ジューリング疱疹状皮膚炎、 Duhring 疱疹状皮膚炎	
NUM-Ww 0115	イ 388	口唇疱疹	口唇ヘルペス	一部破損
NUM-Ww 0116	ヒ 002	尋常性天疱瘡	同左	
NUM-Ww 0117	イ 069	環状肉芽腫	同左	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0118	イ 074	黄色腫	同左	
NUM-Ww 0119	イ 077	皮脂腺腫	脂腺腫	
NUM-Ww 0120	イ 080	多発性丘疹状毛嚢上皮腫	同左	
NUM-Ww 0121	イ 153	慢性乳嚢状潰瘍性膿皮症	壊疽性膿皮症か？	
NUM-Ww 0122	ヒ 036	環状肉芽腫	同左	一部破損
NUM-Ww 0123	ヒ 037	指関節背結節	ヘバーデン結節か？	
NUM-Ww 0124	ヒ 038	脂腺腫	同左	
NUM-Ww 0125	イ 029	汎発性筋萎縮型血管性多形皮膚 萎縮症	皮膚筋炎に伴う多形皮膚萎縮	
NUM-Ww 0126	イ 186	尋常性狼瘡	同左	
NUM-Ww 0127	イ 194	NO.34 皮膚腺病	皮膚腺病	
NUM-Ww 0128	イ 272	ダリエー氏病	Darier 病あるいはダリエー病	
NUM-Ww 0129	ヒ 011	蟲蝕状皮膚萎縮	虫喰状皮膚萎縮症	
NUM-Ww 0130	ヒ 012	Eczerma tyloticum rhagadefasma		2点あり
NUM-Ww 0131	イ 327	海綿状血管腫	同左	
NUM-Ww 0132	イ 336	乳嚢状色素性母斑	色素性母斑	
NUM-Ww 0133	イ 431	被角血管腫	同左	
NUM-Ww 0134	ヒ 010	プリングル病 [Morbus pringle]	同左	
NUM-Ww 0135	イ 345	環状肉芽腫 [Granuloma annulare]	同左	
NUM-Ww 0136	イ 349	NO.52 スルファミン疹 [Sulfamin Exanthom](左肩胛部)	薬疹	
NUM-Ww 0137	イ 353	サルバルサン疹	薬疹	
NUM-Ww 0138	イ 428	爪ノ白斑	爪甲白斑	
NUM-Ww 0139	ヒ 029	ルミナル疹	薬疹	
NUM-Ww 0140	イ 123	丘疹性環状梅毒疹	(第2期梅毒)	
NUM-Ww 0141	イ 385	第四性病鼠蹊リンパ肉芽腫	鼠径リンパ肉芽腫症 (第4性病)	
NUM-Ww 0142	イ 425	梅毒性護謨腫	ゴム腫 (第3期梅毒)	
NUM-Ww 0143	イ 023	肢端紫藍症 (破損部あり)	同左	
NUM-Ww 0144	イ 031	爪疾患種々相		
NUM-Ww 0145	イ 397	爪下出血	爪甲下出血	
NUM-Ww 0146	ヒ 013	爪ノ白癬	爪白癬	
NUM-Ww 0147	ヒ 014	持久性隆起性紅斑	同左	
NUM-Ww 0148	ヒ 015	紅斑性狼瘡 (頬)	同左 (SLEあるいはDLE)	
NUM-Ww 0149	ヒ 016	紅斑性狼瘡 (顔)	同左 (SLEあるいはDLE)	
NUM-Ww 0150	ヒ 017	溝渠状中央爪異栄養		
NUM-Ww 0151	イ 311	進行性指掌角皮症	進行性指掌角皮症 (手湿疹)	
NUM-Ww 0152	イ 382	毛孔性紅色秕糠疹	同左	
NUM-Ww 0153	イ 071	多発性汗腺腫 [Syringoma(Unna)]	汗管腫	
NUM-Ww 0154	イ 084	扁平表皮癌	扁平上皮癌	
NUM-Ww 0155	イ 087	陰茎癌	同左 (扁平上皮癌か)	
NUM-Ww 0156	イ 091	肺癌の皮膚転移	同左	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0157	イ 092	陰茎癌	同左 (扁平上皮癌か)	
NUM-Ww 0158	イ 093	陰茎癌	同左 (扁平上皮癌か)	
NUM-Ww 0159	イ 166	脳廻転状頭皮	脳回転状皮膚	
NUM-Ww 0160	ヒ 034	乳頭状皮膚癌	扁平上皮癌か?	
NUM-Ww 0161	イ 043	NO.509 丘疹状湿疹	湿疹	
NUM-Ww 0162	イ 053	慢性斑状湿疹	慢性湿疹	
NUM-Ww 0163	228	クリーピングデジーズ	creeping disease、 クリーピングデジーズ	
NUM-Ww 0164	イ 108	ブロック氏慢性剥落性皮膚炎	紅皮症	
NUM-Ww 0165	ヒ 069	癩風	同左	台板ゆがみ
NUM-Ww 0166	イ 120	硬性下疳	同左	
NUM-Ww 0167	イ 131	鼠蹊リンパ肉芽腫	鼠径リンパ肉芽腫症	
NUM-Ww 0168	イ 132	鼠蹊リンパ肉芽腫	鼠径リンパ肉芽腫症	
NUM-Ww 0169	イ 135	梅毒性蠣殻疹 [Rupia syphilitica]	梅毒 2 期疹 (蠣殻疹)	
NUM-Ww 0170	イ 401	鼠蹊リンパ肉芽腫	鼠径リンパ肉芽腫症	
NUM-Ww 0171	ヒ 032	再発性丘疹性梅毒疹	(第 2 期梅毒)	
NUM-Ww 0172	303	扁平紅色苔癬	扁平苔癬	
NUM-Ww 0173	イ 295	NO.35 尋常性鱗屑疹	尋常性魚鱗疹か?	
NUM-Ww 0174	イ 324	NO.654 海綿状血管腫	海綿状血管腫	
NUM-Ww 0175	ヒ 031	第四性病象皮症	フィラリア症	
NUM-Ww 0176	イ 180	尋常性狼瘡	同左	
NUM-Ww 0177	イ 182	尋常性狼瘡	同左	
NUM-Ww 0178	イ 189	皮膚疣状結核	同左	
NUM-Ww 0179	イ 193	凍瘡状狼瘡	凍瘡状狼瘡 (chilblain lupus)	
NUM-Ww 0180	イ 201	NO.345 壊疽性丘疹状結核疹	同左	
NUM-Ww 0181	イ 143	神経斑癬		
NUM-Ww 0182	イ 146	斑紋癩	(いわゆる癩病。今は全部まとめて Hansen 病と呼ぶ)	
NUM-Ww 0183	イ 301	毛孔性苔癬	同左	
NUM-Ww 0184	イ 304	ベニール癢疹	慢性痒疹か?	
NUM-Ww 0185	イ 322	海綿状血管腫	同左	
NUM-Ww 0186	662	?		
NUM-Ww 0187	イ 062	NO.559 フォクス・フォアダイズ病	Fox-Fordyce 病	
NUM-Ww 0188	ヒ 024	Creeping disease	同左	
NUM-Ww 0189	イ 126	皮膚護膜腫	ゴム腫 (第 3 期梅毒)	
NUM-Ww 0190	イ 128	NO.29 扁平コンヂローム	扁平コンジローマ	
NUM-Ww 0191	イ 129	尖圭コンジローマ	同左	
NUM-Ww 0192	イ 130	鼠蹊リンパ肉腫症(外陰部)	鼠径リンパ肉芽腫症	
NUM-Ww 0193	イ 138	皮下類肉腫 (梅毒性)	(梅毒)	
NUM-Ww 0194	イ 303	ベニール癢疹	慢性痒疹か?	
NUM-Ww 0195	イ 404	アトピー性湿疹	アトピー性皮膚炎	
NUM-Ww 0196	ヒ 070	皮膚筋炎と健側対照	同左	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0197	イ 281	斑状皮膚萎縮症 (Ⅱ)	斑状皮膚萎縮症	
NUM-Ww 0198	イ 286	血管性多形皮膚萎縮症		
NUM-Ww 0199	イ 291	汎発性筋萎縮型血管性多形皮膚 萎縮症	皮膚筋炎に伴う多形皮膚萎縮	
NUM-Ww 0200	イ 410	慢性萎縮性先端皮膚炎		
NUM-Ww 0201	イ 411	帯状皰疹	線状強皮症	
NUM-Ww 0202	ヒ 030	帯状皰疹	線状強皮症	台板はずれ
NUM-Ww 0203	イ 252	蛇皮様魚鱗癬	魚鱗癬	
NUM-Ww 0204	イ 265	先天性先天性手掌足蹠角化症	先天性掌蹠角化症	
NUM-Ww 0205	イ 269	汗孔角化症	同左	
NUM-Ww 0206	イ 301	ミペリー・汗孔角化症	ミペリー汗孔角化症	
NUM-Ww 0207	ヒ 023	蛇皮様魚鱗癬	魚鱗癬	
NUM-Ww 0208	イ 250	魚鱗癬 [Ichthyosis]	魚鱗癬	
NUM-Ww 0209	イ 253	NO.517 鱗状毛嚢角化症	鱗状毛包性角化症	
NUM-Ww 0210	イ 414	融合性網状乳頭症	融合性細網状乳頭腫症	
NUM-Ww 0211	イ 210	小水疱性斑状白癬	足白癬 (小水疱型)	
NUM-Ww 0212	イ 222	頑癬	股部白癬	
NUM-Ww 0213	イ 223	頑癬	股部白癬	
NUM-Ww 0214	イ 255	棘状毛嚢角化症		
NUM-Ww 0215	イ 402	黄癬		
NUM-Ww 0216	ヒ 033	Trichophytia pompholiciformis mit misok infektion	汗疱	
NUM-Ww 0217	イ 005	薬物性皮膚炎		
NUM-Ww 0218	イ 340	老人性疣贅	同左	
NUM-Ww 0219	イ 343	疣贅様表皮発育異常症 (頸)	疣贅様表皮発育異常症	
NUM-Ww 0220	イ 344	疣贅様表皮発育異常症 (手)	疣贅様表皮発育異常症	一部破損
NUM-Ww 0221	イ 351	アンチピリン疹	ピリン疹	
NUM-Ww 0222	ヒ 049	キニーネ疹	薬疹	
NUM-Ww 0223	ヒ 050	臭素疹	薬疹	
NUM-Ww 0224	イ 259	先天性掌蹠角化症 (手)	同左	
NUM-Ww 0225	イ 260	先天性掌蹠角化症 (手)	同左	
NUM-Ww 0226	イ 262	先天性掌蹠角化症 (足)	同左	
NUM-Ww 0227	イ 270	黒色表皮腫 [Acanthosis nigricans]	同左	
NUM-Ww 0228	イ 204	陰茎結核疹	同左	
NUM-Ww 0229	イ 300	NO.538 蛻殻性乾癬		
NUM-Ww 0230	イ 302	毛孔性苔癬	同左	
NUM-Ww 0231	イ 381	毛孔性紅色秕糠疹	同左	
NUM-Ww 0232	ヒ 027	淋巴管腫	リンパ管腫	
NUM-Ww 0233	ヒ 028	皮膚疣状結核	同左	
NUM-Ww 0234	イ 308	NO.51 毛孔性紅色秕糠疹	同左	一部破損
NUM-Ww 0235	イ 310	斑状パラプソリアジス	斑状類乾癬	
NUM-Ww 0236	イ 380	毛孔性紅色秕糠疹	同左	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0237	イ 424	乾癬	同左	
NUM-Ww 0238	ヒ 057	汎発性扁平紅色苔癬	扁平苔癬	
NUM-Ww 0239	ヒ 058	進行性手掌角化症湿疹化	進行性手掌角化症	3点あり
NUM-Ww 0240	イ 313	貧血性母斑	貧血母斑	
NUM-Ww 0241	イ 315	NO.636 軀幹被角血管腫	被角血管腫	
NUM-Ww 0242	イ 317	海綿様血管腫兼小児蕁麻疹様苔癬		
NUM-Ww 0243	イ 318	海綿状血管腫	同左	
NUM-Ww 0244	イ 319	海綿状血管腫	同左	一部破損
NUM-Ww 0245	イ 320	海綿状血管腫	同左	
NUM-Ww 0246	イ 323	海綿状血管腫	同左	
NUM-Ww 0247	イ 325	海綿状血管腫	同左	
NUM-Ww 0248	ヒ 080	海綿状血管腫	同左	
NUM-Ww 0249	051	口囲赤色湿疹	湿疹	
NUM-Ww 0250	イ 042	丘疹状湿疹		
NUM-Ww 0251	イ 050	アトピー皮膚炎	アトピー性皮膚炎	
NUM-Ww 0252	イ 054	慢性湿疹	同左	
NUM-Ww 0253	イ 422	亜急性剥脱性皮膚炎		
NUM-Ww 0254	ヒ 073	ヴィダール氏単純性苔癬	ヴィダール単純性苔癬	
NUM-Ww 0255	ヒ 074	NO.518 結痂性湿疹	湿疹	
NUM-Ww 0256	イ 230	NO.53 鼠咬症ノ発疹 [Rattenbiss kraukheit]	鼠咬症	
NUM-Ww 0257	イ 232	対側性肢端色素異常症	遺伝性対側性色素異常症	
NUM-Ww 0258	イ 239	NO.608 クウィンケ浮腫	クインケ浮腫	
NUM-Ww 0259	イ 241	NO.659 スポロトリコーゼ	スポロトリコーシス	
NUM-Ww 0260	263	先天性手掌及足蹠角化症	先天性掌蹠角化症	
NUM-Ww 0261	イ 275	鞏皮症	強皮症	
NUM-Ww 0262	イ 276	肢端硬化症 [Akrosclerose Sellei]		
NUM-Ww 0263	イ 279	斑状皮膚萎縮症 (I)	斑状皮膚萎縮症	
NUM-Ww 0264	イ 283	限局性皮膚萎縮症		
NUM-Ww 0265	イ 284	虫喰性皮膚萎縮症	虫喰状皮膚萎縮症	
NUM-Ww 0266	イ 328	蜘蛛状血管拡張	くも状血管腫	
NUM-Ww 0267	イ 330	毛嚢性母斑	毛包母斑あるいは面皰母斑	
NUM-Ww 0268	イ 331	毛嚢性母斑	毛包母斑あるいは面皰母斑	
NUM-Ww 0269	イ 333	プリングル氏病 (対側性脂腺腫)	ブルングル病	
NUM-Ww 0270	イ 334	色素性母斑	同左	
NUM-Ww 0271	イ 278	ポイキロデルマ	多形皮膚萎縮	一部破損
NUM-Ww 0272	イ 285	虫蝕状皮膚萎縮	虫喰状皮膚萎縮症	
NUM-Ww 0273	イ 287	血管性多形皮膚萎縮症 (Peget 型) (胸)	多形皮膚萎縮	
NUM-Ww 0274	イ 289	血管性多形皮膚萎縮症 (Petges 型) (顔)	多形皮膚萎縮	一部破損
NUM-Ww 0275	イ 409	慢性萎縮性先端皮膚炎		
NUM-Ww 0276	イ 296	尋常性鱗屑癬	尋常性魚鱗癬	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0277	イ 298	尋常性鱗屑疹	尋常性魚鱗癬	
NUM-Ww 0278	イ 306	尖圭紅色苔癬		
NUM-Ww 0279	イ 307	尖圭紅色苔癬		
NUM-Ww 0280	イ 309	ヂペール氏薔薇色秕糠疹	ジベルバラ色秕糠疹	
NUM-Ww 0281	ヒ 074	尋常性鱗屑疹	尋常性魚鱗癬	
NUM-Ww 0282	イ 185	NO.367 尋常性狼瘡	同左	
NUM-Ww 0283	イ 187	尋常性狼瘡	同左	
NUM-Ww 0284	イ 200	NO.607 壊疽性丘疹状結核疹	同左	
NUM-Ww 0285	イ 202	潰瘍性粟粒結核	同左	
NUM-Ww 0286	ヒ 025	尋常性狼瘡（鼻）	同左	
NUM-Ww 0287	ヒ 026	尋常性狼瘡（頬）	同左	
NUM-Ww 0288	イ 121	大丘疹性梅毒疹	大丘疹性梅毒（第2期梅毒）	
NUM-Ww 0289	イ 122	大丘疹性梅毒疹	大丘疹性梅毒（第2期梅毒）	
NUM-Ww 0290	イ 124	NO.463 丘疹性落屑性梅毒疹	（第2期梅毒）	
NUM-Ww 0291	イ 127	表在性小結節性護膜腫	ゴム腫（第3期梅毒）	
NUM-Ww 0292	イ 133	鼠蹊淋巴肉芽腫症	鼠径リンパ肉芽腫症	
NUM-Ww 0293	イ 136	梅毒性乳白斑	梅毒性白斑（第2期梅毒）	
NUM-Ww 0294	イ 139	混合下疳	同左	
NUM-Ww 0295	イ 141	葡萄状球菌性膿痂疹	伝染性膿痂疹（ぶどう球菌性）	
NUM-Ww 0296	イ 148	頭部乳状皮膚炎	頭部乳頭状皮膚炎	
NUM-Ww 0297	イ 150	尋常性毛瘡	同左	
NUM-Ww 0298	イ 162	脾脱疽	Bacillus anthracis 感染症 （炭疽病）	
NUM-Ww 0299	イ 167	水瘡	壊疽性蜂巣炎	
NUM-Ww 0300	イ 181	尋常性狼瘡	同左	
NUM-Ww 0301	イ 198	バザン氏硬結性紅斑	バザン硬結性紅斑	
NUM-Ww 0302	イ 417	壊疽性丘疹状結核疹	同左	
NUM-Ww 0303	ヒ 075	凍瘡状狼瘡	凍瘡状狼瘡（DLE）	
NUM-Ww 0304	ヒ 076	壊疽性丘疹状結核疹	同左	
NUM-Ww 0305	273	融合性細網状乳嘴腫症	融合性細網状乳頭腫症	
NUM-Ww 0306	イ 247	癩風	同左	
NUM-Ww 0307	イ 258	先天性掌蹠角化症	同左	
NUM-Ww 0308	イ 261	先天性手掌及足蹠角化症	先天性掌蹠角化症	
NUM-Ww 0309	イ 387	網状融合性乳嘴腫症	融合性細網状乳頭腫症	一部破損
NUM-Ww 0310	イ 271	黒色表皮腫	同左	
NUM-Ww 0311	イ 413	融合性網状乳頭症	融合性細網状乳頭腫症	
NUM-Ww 0312	ヒ 077	NO.55 汗孔角化症	同左	
NUM-Ww 0313	ヒ 078	足蹠角化症	同左	
NUM-Ww 0314	ヒ 079	蛇皮様魚鱗癬	魚鱗癬	
NUM-Ww 0315	イ 173	脊髄空洞症ニ因ル潰瘍（手）		
NUM-Ww 0316	イ 176	皮膚プリロスペルミウム病	プリロスペルミウム感染症	
NUM-Ww 0317	イ 179	アルツボ腫病		
NUM-Ww 0318	ヒ 042	禿髮性毛包炎		

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0319	ヒ 043	脊髄空洞症ニ因ル潰瘍 (足)		
NUM-Ww 0320	ヒ 044	青年性扁平疣贅 (横顔)	同左	
NUM-Ww 0321	ヒ 045	青年性扁平疣贅 (正面)	同左	
NUM-Ww 0322	イ 024	肢端紫藍症	同左	
NUM-Ww 0323	イ 405	アトピー性湿疹	アトピー性皮膚炎	
NUM-Ww 0324	イ 420	肢端脈管麻痺性厚皮症		
NUM-Ww 0325	ヒ 055	肢端脈管麻痺性厚皮症		
NUM-Ww 0326	ヒ 056	スポロトリコース [Sporotricose]	スポロトリコース	
NUM-Ww 0327	イ 341	伝染性軟属腫	伝染性軟属腫	
NUM-Ww 0328	イ 342	疣贅様表皮発育異常症	疣贅状表皮発育異常症	
NUM-Ww 0329	イ 346	環状肉芽腫	同左	
NUM-Ww 0330	イ 350	ズルファミン疹	薬疹	
NUM-Ww 0331	ヒ 051	老人性疣贅	同左	
NUM-Ww 0332	ヒ 052	尋常性疣贅	同左	
NUM-Ww 0333	イ 244	水田病	セルカリア皮膚炎	
NUM-Ww 0334	イ 425	クリーピングデジーズ	クリーピングディーズ	
NUM-Ww 0335	イ 427	爪甲白癬	爪白癬	
NUM-Ww 0336	ヒ 041	蛇行性狼瘡	尋常性狼瘡	
NUM-Ww 0337	イ 070	多発性汗腺腫	多発性汗管腫	
NUM-Ww 0338	イ 099	菌状息肉腫	菌状息肉症	
NUM-Ww 0339	イ 399	悪性メラノーム	悪性黒色腫	一部陥没
NUM-Ww 0340	イ 437	特発性多発性出血性肉腫	血管肉腫か？	
NUM-Ww 0341	ヒ 005	カボシー氏肉腫	カポジ肉腫あるいは Kaposi 肉腫	
NUM-Ww 0342	ヒ 006	皮膚癌の転移？		
NUM-Ww 0343	イ 005	持久性隆起性紅斑	同左	
NUM-Ww 0344	イ 006	ダリエー氏遠心性圏状紅斑	ダリエー氏遠心性圏状紅斑 (遠心性環状紅斑)	
NUM-Ww 0345	イ 014	血管拡張性環状紫斑	慢性色素性紫斑 (血管拡張性環状紫斑)	
NUM-Ww 0346	イ 033	匙形爪兼爪甲縦溝症	匙形爪甲と爪甲縦溝	
NUM-Ww 0347	イ 034	匙形爪兼爪甲縦溝症	匙形爪甲と爪甲縦溝	
NUM-Ww 0348	イ 113	種痘様水疱症	同左	
NUM-Ww 0349	イ 116	NO.605 ヘブラ紅色枇糠疹	同左	
NUM-Ww 0350	イ 168	尿道口囊腫		
NUM-Ww 0351	ヒ 007	ヂューリング氏疱疹状皮膚炎	ヂューリング疱疹状皮膚炎	
NUM-Ww 0352	ヒ 008	疣贅様表皮発育異常症	疣贅状表皮発育異常症	
NUM-Ww 0353	ヒ 009	帯状疱疹	同左	
NUM-Ww 0354	イ 056	線状皮膚炎	同左	
NUM-Ww 0355	イ 103	帯状疱疹	同左	
NUM-Ww 0356	イ 117	ヘブラ紅色枇糠疹	同左	
NUM-Ww 0357	ヒ 004	ヂューリング氏疱疹状皮膚炎	ヂューリング疱疹状皮膚炎	
NUM-Ww 0358	イ 274	手指鞏皮症	強皮症	
NUM-Ww 0359	イ 282	限局性皮膚委縮症	同左	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0360	イ 292	汎発性筋萎縮型血管性多形皮膚 萎縮症	皮膚筋炎に伴う多形皮膚萎縮	
NUM-Ww 0361	イ 389	遺傳性散在性手掌足底角化症	遺伝性掌蹠角化症	
NUM-Ww 0362	イ 217	白癬菌性毛瘡	同左	
NUM-Ww 0363	イ 221	頑癬	股部白癬	
NUM-Ww 0364	ヒ 021	汗疱状白癬竝ニ白癬疹		
NUM-Ww 0365	イ 003	NO.78 多形滲出性紅斑	多形浸出性紅斑	
NUM-Ww 0366	イ 151	狼瘡様毛瘡 [SYCOSIS LUPOIDE]	尋常性毛瘡	
NUM-Ww 0367	イ 163	疣状舌炎	地図状舌か？	
NUM-Ww 0368	イ 164	ガングリオン	同左	
NUM-Ww 0369	イ 165	指関節瘤	ガングリオンか？	
NUM-Ww 0370	イ 169	半陰陽（男性）	同左	
NUM-Ww 0371	イ 338	青年性扁平疣贅	同左	
NUM-Ww 0372	ヒ 022	半陰陽	同左	
NUM-Ww 0373	イ 119	硬性下疳	同左	
NUM-Ww 0374	イ 214	汗疱様湿疹	汗疱状湿疹	
NUM-Ww 0375	イ 392	Kerion Cellsi	ケルスス禿瘡	
NUM-Ww 0376	イ 426	爪甲白癬	爪白癬	
NUM-Ww 0377	ヒ 081	グリセオフルビンに依る爪甲 白癬治験	グリセオフルビンによる爪白癬 治療後	
NUM-Ww 0378	ヒ 082	白癬性趾間性湿疹	足白癬	
NUM-Ww 0379	イ 078	レクリングハウゼン病	レクリングハウゼン病	
NUM-Ww 0380	イ 171	淋毒性角化亢進症 (Dermatolog Klinik Breslau)		
NUM-Ww 0381	イ 172	毛包性プロロスベルミウム病 (Dermatolog Klinik Breslau)		
NUM-Ww 0382	ヒ 083	慢性苔癬状枇糠疹 (Dermatolog Klinik Breslau)		台板割れ
NUM-Ww 0383	ヒ 084	播種状円盤形枇糠性紅皮症 (Dermatolog Klinik Breslau)		
NUM-Ww 0384	イ 061	フォクス・フォアダイス氏病	Fox-Fordyce 病	
NUM-Ww 0385	イ 199	NO.606 壊疽性丘疹状結核疹	同左	
NUM-Ww 0386	イ 277	ポイキロデルマ	多形皮膚萎縮	
NUM-Ww 0387	イ 312	進行性手掌角化症 (爪甲・骨変化を供ふ)		
NUM-Ww 0388	イ 415	蕁麻疹様紫斑		
NUM-Ww 0389	イ 416	蕁麻疹様紫斑		
NUM-Ww 0390	ヒ 035	固定性蕁麻疹	固定蕁麻疹	
NUM-Ww 0391	イ 063	持久性蕁麻疹兼淋巴管腫		
NUM-Ww 0392	イ 066	乳嘴腫		
NUM-Ww 0393	イ 068	癬痕蟹足腫		
NUM-Ww 0394	イ 248	蛆隧症 [CREEPING DISEASE]	クリーピングディーズ	
NUM-Ww 0395	イ 396	爪甲白癬	爪白癬	
NUM-Ww 0396	イ 408	クリーピングディーズ	クリーピングディーズ	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0397	イ 433	爪甲白癬 (治療前/グリセオフルビン毎日1瓦内服4ヶ月后)	爪白癬 (治療前後)	
NUM-Ww 0398	ヒ 071	斑状小水疱性白癬	足白癬 (斑状小水疱型)	
NUM-Ww 0399	ヒ 072	NO.59 顔面播種状粟粒狼瘡	顔面播種状粟粒性狼瘡	
NUM-Ww 0400	イ 008	癩麻質斯性紫斑		
NUM-Ww 0401	イ 027	播種状紅斑性狼瘡	(エリテマトーデス)	
NUM-Ww 0402	イ 429	単純性紫斑		
NUM-Ww 0403	203	固定性蕁麻疹	固定蕁麻疹	
NUM-Ww 0404	227	NO.533・534 諾威疥癬	ノルウェー疥癬	
NUM-Ww 0405	045	人工蕁麻疹	同左	
NUM-Ww 0406	イ 004	菌状息肉腫	菌状息肉症	
NUM-Ww 0407	イ 007	ダリエー氏遠心性環状紅斑	ダリエー遠心性環状紅斑	
NUM-Ww 0408	イ 010	結節性紅斑	同左	
NUM-Ww 0409	イ 021	NO.656・657 Pellagra	ペラグラ	
NUM-Ww 0410	イ 022	凍傷	同左	
NUM-Ww 0411	イ 025	菌状息肉腫	菌状息肉症	
NUM-Ww 0412	イ 052	NO.512 慢性湿疹	同左	
NUM-Ww 0413	イ 076	脂腺腫 [Adenoma sebaceum]	同左	
NUM-Ww 0414	イ 137	手掌足趾梅毒性丘疹	第2期梅毒	
NUM-Ww 0415	イ 144	斑紋癩	Hansen 病	
NUM-Ww 0416	イ 159	酒サ (第二度)	同左	
NUM-Ww 0417	イ 161	血管拡張肉芽腫	血管拡張性肉芽腫	
NUM-Ww 0418	イ 184	尋常性狼瘡	同左	
NUM-Ww 0419	イ 191	顔面播種状粟粒狼瘡	顔面播種状粟粒性狼瘡	
NUM-Ww 0420	イ 196	腺病性苔癬	同左	
NUM-Ww 0421	イ 207	頭部浅在性白癬	同左	
NUM-Ww 0422	イ 314	軀幹限局性被角血管腫	被角血管腫	
NUM-Ww 0423	イ 376	遠心性環状紅斑	同左	
NUM-Ww 0424	イ 403	基底細胞癌	基底細胞上皮癌	
NUM-Ww 0425	イ 407	貨幣状湿疹	同左	
NUM-Ww 0426	イ 436	癩痕ケロイド	同左	
NUM-Ww 0427	ヒ 085	NO.553 陰茎結核疹	同左	
NUM-Ww 0428	ヒ 086	ヴィダール単純性苔癬	ヴィダール苔癬	
NUM-Ww 0429	ヒ 087	固定性蕁麻疹	固定蕁麻疹	
NUM-Ww 0430	ヒ 088	急性播種状エリテマトーデス (手)	(SLE)	
NUM-Ww 0431	ヒ 089	皮膚疣状結核	同左	
NUM-Ww 0432	ヒ 090	悪性メラノーム転移	悪性黒色腫転移	
NUM-Ww 0433	ヒ 091	天然痘	同左	
NUM-Ww 0434	ヒ 092	扁平紅色苔癬	扁平苔癬	
NUM-Ww 0435	ヒ 093	魚鱗癬	同左	
NUM-Ww 0436	ヒ 094	淋巴管腫	淋巴管腫 (リンパ管腫)	
NUM-Ww 0437	ヒ 095	硬性下疳	同左	
NUM-Ww 0438	ヒ 096	多型滲出性紅斑	多形浸出性紅斑	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0439	ヒ 097	急性播種状エリテマトーデス (顔)	(SLE)	
NUM-Ww 0440	ヒ 098	慢性円板状エリテマトーデス	(DLE)	一部破損
NUM-Ww 0441	ヒ 099	レノー氏病	レイノー症状	
NUM-Ww 0442	ヒ 100	チェルズース氏禿瘡	ケルスス禿瘡	
NUM-Ww 0443	ヒ 101	尋常性鱗屑疹	尋常性魚鱗癬	
NUM-Ww 0444	ヒ 102	水田病	セルカリア皮膚炎	
NUM-Ww 0445	326	海綿状血管腫	同左	
NUM-Ww 0446	イ 012	ペラグラ	同左	
NUM-Ww 0447	イ 015	血管拡張性環状紫斑	慢性色素性紫斑 (血管拡張性環状紫斑)	
NUM-Ww 0448	イ 085	悪性メラノーム	悪性黒色腫	
NUM-Ww 0449	イ 142	連鎖状球菌性膿痂疹	伝染性膿痂疹 (連鎖球菌性)	
NUM-Ww 0450	イ 145	斑紋癩	Hansen 病	
NUM-Ww 0451	イ 147	NO.556 頭部乳頭状皮膚炎	頭部乳頭状皮膚炎	
NUM-Ww 0452	イ 152	慢性乳嘴状潰瘍性膿皮症 (手)	壊疽性膿皮症か?	
NUM-Ww 0453	イ 156	痘瘡	同左	
NUM-Ww 0454	イ 158	水痘	同左	
NUM-Ww 0455	イ 195	皮膚結核による腺病性潰瘍	皮膚腺病による潰瘍	
NUM-Ww 0456	イ 213	汗疱様白癬	足白癬 (小水疱型)	
NUM-Ww 0457	イ 386	被角血管腫	同左	
NUM-Ww 0458	イ 406	アトピー性湿疹	アトピー性皮膚炎	
NUM-Ww 0459	ヒ 103	皮膚結核による皮膚腺病	皮膚腺病	
NUM-Ww 0460	ヒ 104	皮膚結核による尋常性狼瘡	尋常性狼瘡	
NUM-Ww 0461	ヒ 105	天然痘	同左	
NUM-Ww 0462	ヒ 106	癩痕ケロイド	同左	
NUM-Ww 0463	ヒ 107	クリーピング・ヂ、ーズ	クリーピングディーズ	
NUM-Ww 0464	ヒ 108	慢性乳嘴状潰瘍性膿皮症 (足)	壊疽性膿皮症か?	
NUM-Ww 0465	ヒ 109	Erythema punctata (37.6.15)		
NUM-Ww 0466	ヒ 110	頑癬	股部白癬	
NUM-Ww 0467	ヒ 111	環状肉芽腫症	環状肉芽腫	
NUM-Ww 0468	ヒ 112	多発性結節性黄色腫 (37.5.23)	結節型黄色腫	
NUM-Ww 0469	ヒ 113	小児ストロフルス	小児ストロフルス	
NUM-Ww 0470	イ 140	侵蝕性下疳		
NUM-Ww 0471	イ 216	爪甲白癬	爪白癬	
NUM-Ww 0472	イ 226	犬だに咬著例 (陰部)	同左	
NUM-Ww 0473	ヒ 114	天然痘	同左	
NUM-Ww 0474	ヒ 115	Tylodes	たこ、あるいは胼胝	
NUM-Ww 0475		梅毒性乳白斑	梅毒性白斑	
NUM-Ww 0476		指関節背紡節		
NUM-Ww 0477	イ 134	再発性丘疹性梅毒疹	(第2期梅毒)	
NUM-Ww 0478		菌状息肉腫	菌状息肉症	
NUM-Ww 0479		扁平紅色苔癬	扁平苔癬	
NUM-Ww 0480		先天性表皮水疱症	同左	

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適当と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0481		青年性扁平疣贅	同左	
NUM-Ww 0482		薬物（シンナー）性表皮剥脱	薬疹	
NUM-Ww 0483	イ 304	扁平紅色苔癬	扁平苔癬	
NUM-Ww 0484		青年性扁平疣贅	同左	
NUM-Ww 0485		尖圭紅色苔癬		
NUM-Ww 0486		薬物（シンナー）性表皮剥脱	薬疹	
NUM-Ww 0487		扁平紅色苔癬	扁平苔癬	一部破損
NUM-Ww 0488	イ 251	蛇皮様魚鱗癬	魚鱗癬	
NUM-Ww 0489		Tnprtigv Buckhnrcit (?正確に判読できず)		
NUM-Ww 0490		Ichthyosis (?正確に判読できず)		
NUM-Ww 0491		静脈瘤	同左	
NUM-Ww 0492		環状肉腫	環状肉芽腫	
NUM-Ww 0493	イ 280	斑状皮膚萎縮症	同左	
NUM-Ww 0494		色素性乾皮症兼皮膚癌	色素性乾皮症と併発した皮膚癌	
NUM-Ww 0495		諾威疥癬	ノルウェー疥癬	
NUM-Ww 0496		無記名		
NUM-Ww 0497		無記名		
NUM-Ww 0498		無記名		
NUM-Ww 0499		無記名		布はがれている
NUM-Ww 0500		無記名		
NUM-Ww 0501		無記名		
NUM-Ww 0502		無記名		
NUM-Ww 0503		無記名		
NUM-Ww 0504		無記名		布なし
NUM-Ww 0505		水痘	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0506		天然痘	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0507		麻疹	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0508		梅毒第一期陰部外硬性下疳	硬性下疳（第1期梅毒）	ガラスケース入り
NUM-Ww 0509		同・治療後	硬性下疳（第1期梅毒）治療後	ガラスケース入り
NUM-Ww 0510		乳癌	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0511		皮膚疣状結核 治療前	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0512		同・治療成績 (ネオイスコチン五ヶ月服用)	皮膚疣状結核治療後	ガラスケース入り
NUM-Ww 0513		第三期梅毒 護謨腫	ゴム腫（第3期梅毒）	ガラスケース入り
NUM-Ww 0514		扁平表皮癌	扁平上皮癌	ガラスケース入り
NUM-Ww 0515		皮膚癌		ガラスケース入り
NUM-Ww 0516		尋常性狼瘡	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0517		皮膚疣状結核	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0518		猩紅熱	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0519		色素性乾皮症兼皮膚癌	色素性乾皮症と皮膚癌	ガラスケース入り
NUM-Ww 0520		基底細胞癌	基底細胞上皮癌	ガラスケース入り
NUM-Ww 0521		皮膚疣状結核 治療前	同左	ガラスケース入り

博物館標本番号	医学部 標本番号	名 称	現在の名称またはより適切と 思われる名称	備 考
NUM-Ww 0522		同・治療成績 (ネオイスコチン五ヶ月服用)	皮膚疣状結核治療後	ガラスケース入り
NUM-Ww 0523		梅毒性環状丘疹	(第2期梅毒)	ガラスケース入り
NUM-Ww 0524		梅毒性丘疹	(第2期梅毒)	ガラスケース入り
NUM-Ww 0525		臭素疹	薬疹	ガラスケース入り
NUM-Ww 0526		バサン氏硬結性紅斑	バサン硬結性紅斑	ガラスケース入り
NUM-Ww 0527		連鎖状球菌性膿痂疹	伝染性膿痂疹 (連鎖球菌性)	ガラスケース入り
NUM-Ww 0528		丹毒	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0529		白色葡萄状球菌性膿痂疹	伝染性膿痂疹 (ぶどう球菌性)	ガラスケース入り
NUM-Ww 0530		第四性病性象皮症	フィラリア症	ガラスケース入り
NUM-Ww 0531		發疹チフス	同左	ガラスケース入り
NUM-Ww 0532		梅毒第一期硬性下疳	硬性下疳 (第1期梅毒)	ガラスケース入り
NUM-Ww 0533		同・治療後	硬性下疳 (第1期梅毒) 治療後	ガラスケース入り
NUM-Ww 0534		無記名		ガラスケース入り
NUM-Ww 0535		梅毒性蛭蝨疹	梅毒性蛭蝨疹 (第2期梅毒)	ガラス割れ
NUM-Ww 0536		同・治療後	梅毒性蛭蝨疹 (第2期梅毒) 治療後	ガラス割れ